

# わが人生の転機

心に残る

ひと言・人・作品

リレートーク⑤



名古屋の不動産会社、その経営は明治生まれの女性事業家を祖母に持つ平松潤一郎氏の下で、着実に発展してきた。平松氏は名古屋市中区栄の名古屋三越ビルを所有するオリエンタルビル株式会社の社長を経て、現在は取締役相談役の要職にある。「名古屋三大女傑」の一人とされるのが平松氏の祖母、平松さわさん。他に先んじて一等地を購入する先見の明があり、情に篤く、決して諦めない努力の人で、人生訓は「生涯是奮闘」。さわさんから経営の要諦、「カネとヒトの使い方」を学んだという平松氏には幅広い趣味の世界を含めて著名人からも羨望の目が注がれている。子から孫、ひ孫へ、それぞれの人生に大きな影響を与え続けて、脈々と伝わる「さわさん物語」の神髄を平松氏に聞いた。

## 名古屋の女傑、祖母の経営哲学「生涯是奮闘」に敬服

先見性、決断力、たゆまぬ努力、すべてが目から鱗

「最も尊敬している人は、と聞かれたら、祖母の平松さわの名前を即答するでしょうね。様々なことを教えてもらいましたが、会社経営についてはお金と人の使い方、そのメリハリの利いた発想が特に印象的でした。早くして夫を亡くして社業を担い、戦争を経て事業を着実に拡大してきました。時代の先を読む力、都心の土地を入手していく先見の明は尊敬に値します」

平松氏は1949年10月、さわの一人娘、せき子を母に、養子の平松茂禧を父に長男として愛知県西春日井郡清洲町（現・清須市）に生まれた。72年3月南山大学経営学部経済学科を卒業し、父親の若い頃の修行先であった大阪船場の繊維会社、鷹岡株式会社に入社。生地管理など裏方の作業など2年余り続け、繊維、生地の測り方などビジネスの基本を学んだという。74年オリエンタルビル株式会社入社。88年代表取締役、91年同社代表取締役社長に就任。その後、車好きからオリエンタルオート株式会社を設立して貿易、保険業の基礎も身に付けた。そしてビル会社社長を長男、宏茂氏に譲り、現職の相談役に。

「祖母のさわは、明治26（1893）年に清洲町に生まれ、16歳で町内の平松豊助と結婚。飼料を販売する合資、平松商店を運営していた豊助は後に県会議員となり、さわは必要に迫られて事業を切り盛りするようになったようです。この間に事業家としての才覚を磨いていたのかもしれない。34年に豊助が急逝し、さわは41歳で商店を取り仕切るように。戦後は軍隊用に

## オリエンタルビル株式会社 平松潤一郎 相談役



用意してあった大量の砂糖を使い佃煮製造を始めるなど事業を拡大する一方で、焼け野原となった名古屋栄の土地を見て大きな事業には大きな器がいる、と700坪の土地を購入。部屋数40室ほどのヤマトホテルを設立、経営。米国軍人用のダンスホールも開設して大きな利益を得ました。客の中には芦田均首相（1887-1959）ら政界の大物もいました。これが当社の原点であり、ビル以外にもリスク分散のため名古屋市東部の幹線道路沿いに3万から4万坪の土地を購入し、積水ハウスなどと分譲を始めましたが、バブルが弾けてしまいました。しかし、リスクはなく、その後はイタリアンレストランも直営